

佐賀大学「地方創生インターンシップ」を受入れ

西日本総合コンサルタント株式会社

1. インターンシップ受入れ目的

西日本総合コンサルタント(株) (佐賀市 福島裕充代表取締役) は、佐賀大学からインターン生を2名受け入れ、現場測量実習など職業体験を通じて建設コンサルタント業への理解を深めた。

この事業は、佐賀大学「地方創生インターンシップ」に基づき、佐賀大学工学部と当社(西日本総合コンサルタント(株))がインターンシップ実施に関する覚書を締結され実施された。

2. インターンシップ概要

- ① 佐賀大学工学部 3年生の田中良典さん、2年生の大竹健生さんの2名
- ② 受け入れ期間 令和元年9月2日(月)～9月13日(金) 2週間
- ③ 受け入れ場所 西日本総合コンサルタント(株) 本社
- ③ 受け入れ責任者 内野政則 常務取締役

3. 受け入れ内容

今回は、8月28日の集中豪雨後であり、一級河川六角川の洪水痕跡調査・測量実習体験を主に行った。また、災害現場のドローン測量見学、地質柱状図演習、橋梁点検調査サイトの点検チェック実習も行った。設計専門技術者からの道路計画や河川計画等の設計方針、手順の体験談、意見交換など、建設コンサルタントの業務全般について学習・体験をされるなど大学の講義では習得できない貴重な経験をされた。毎日、インターンシップ業務日報を書き、研修責任者からのコメントをいただいていた。



インターンシップ成果発表(プレゼンテーション)後の会社幹部との意見交換

最終日には、午前中、業務日報に基づき、インターンシップ成果発表・プレゼンテーション資料作成の準備を行い、午後から技術総括の大串正専務取締役や黒部秀則設計総括部長ら会社幹部7名が参加して、各々が約40分程度のインターンシップ成果発表をパワーポイントによってプレゼンテーションが行われた。その後、インターン生と参加者によって活発な意見交換が約1時間半行われた。



成果発表（田中良典さん）



成果発表（大竹健生さん）



最後に大串正専務取締役から「当社は、働き方改革にそったワークライフバランス（仕事と家庭の両立支援）を推進している。今回のインターンシップでインターン生は、業務・職業体験等を通じて、進路選択のきっかけになったと思う。建設業、コンサルタント業を含め様々な経験を数多くして欲しい」と話された。



コンサルタント業（設計、アセットマネジメント等の業務説明）



災害現場・ドローン測量見学



インターンシップ終了挨拶（総務営業部門）



インターン
シップ2週間
頑張りました。
（当社玄関前）